

池観光開発株式会社

平成26年度版

# 安全報告書



# 平成26年度版 大室山登山リフト安全報告書 (平成25年11月～平成26年10月)

## 1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用と、ご理解いただき誠にありがとうございます。  
当社は、経営理念の第一に、お客様の安全確保を掲げ、法令遵守のもとに日々の安全輸送に努めています。  
本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保の為のマネジメント体制や、安全輸送の実施について日々、自ら振り返るとともに広くご意見を頂くために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立たく、ご意見を頂戴できれば幸いです。

池観光開発(株) 代表取締役 社長 安立初男

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の基本方針は、「輸送の安全確保」で、当社の安全管理規程、第二章、第二条に掲げており、社長、役員、従業員に周知徹底しております。また、経営理念といたしましては、「お客様の安全確保」を掲げています。

### (2) 安全目標 (中期目標)

輸送の安全目標(2008年11月～2014年10月)は次表のとおり目標達成に向けて取り組んでいます。

区 分	項 目	目 標 内 容
定量的な目標	施設不具合による事故	施設不具合による事故を発生させない
	人身障害事故	人身障害事故を発生させない

## 3. 事故等の発生状況と再発防止措置

### (1) 索道運転事故

平成26年度、索道事故の発生はありませんでした。「創業以来50年間索道運転事故の発生件数は0件」です。

### (2) 災害(地震や暴風雨、落雷、ゲリラ雷雨など)

強風、雨、台風等により、14日およそ113時間運悪天候にて21日およそ75時間途中営業途中で運行を中止しました。

### (3) インシデント(事故の兆候)

平成26年度、インシデントの発生はありませんでした。

### (4) 行政指導

平成26年、監督官庁からの行政指導はありませんでした。

## 4. 輸送の安全のための取り組み

### (1) 人材教育

従業員には、輸送や皆様の安全に役立つよう日頃から施設などの取り扱いについての安全教育を実施しています。また日本鋼索交通協会作成の小冊子【お客様を安全に運びます】を全従業員に配布して日々の安全教育に活用しています。“PDCAサイクル”の取り組みにおいて、継続的な安全性の向上に努め教育を行い、“インシデント・ヒヤリハット”の対策等に取り組んでいます。  
また、社外教育として、索道メーカーが開催する、技術系教育セミナーへ積極的に参加し本年度は、NC テクニカルセミナー【油圧/油圧装置の取り扱い】を索道係員1名が受講しました。

## (2) 緊急時対応訓練

毎年1回以上、全従業員にて、防災訓練、救助訓練を実施しています。  
今年度は、25年12月5日、消火訓練、救助訓練・26年4月13日、繁忙期前の乗客の応対(高齢者)等の乗降訓練、26年7月8日救助訓練(右写真)を実施、



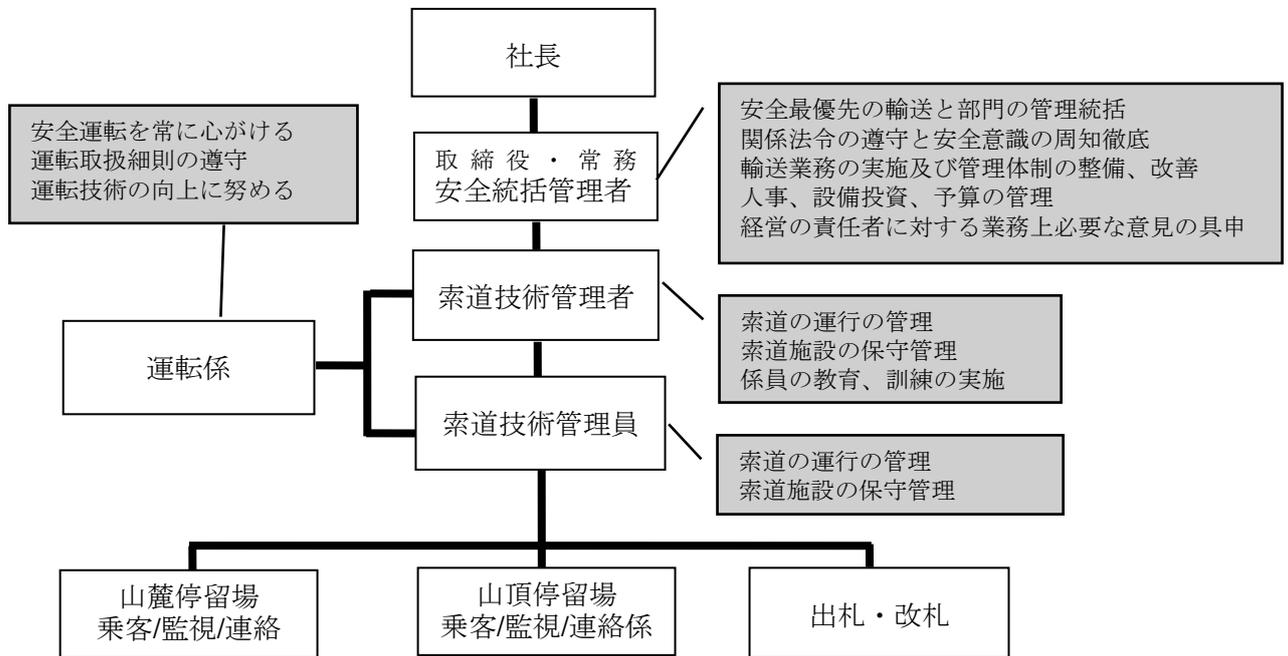
## (3) 安全・安心のための点検、整備等への投資

安全維持管理のための中長期点検・整備計画書により索道施設の整備、改修を実施しています。  
今年度は始業点検、1、6、12月の法定点検、潤滑油の給油、消耗部品等の交換、折返し滑車軸及び折返し滑車振止め、上り側油圧緊張シリンダー、油圧緊張ユニット油面計の更新、8号支柱下り側受索装置(受索輪等)の交換及びメンテナンスを行いました。  
又、平成26年7月に国土交通省・中部運輸局による保安監査が行われました。  
関係書類の審査や、営業中の係員の業務状況、索道施設、救助訓練を確認して頂きました。



## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、日々の報告、連絡等も重視し業務に反映させています。



## 6. 利用者の皆さまの連携とお願い

- (1) 大室山登山リフトでは、ご利用いただきますお客様に、安全・安心な索道施設を作るために、ご要望、ご意見等お聞かせ願ひ少しでもお役に立てるように改善したいと思っています。
- (2) リフトの乗り方 <https://www.youtube.com/watch?v=qZmoHFW9twI>



- 待機位置に二列に並び係員の指示に従ってください。
- 座ったらすぐに足を上げて（伸ばす）下さい。
- 頭上のセフティーバーを下げて下さい。
- 身体の不自由な方は、係員に申し出てください。